

東近江地域 みおしずく栽培研修会

令和5年9月8日（金）

14：00～16：00

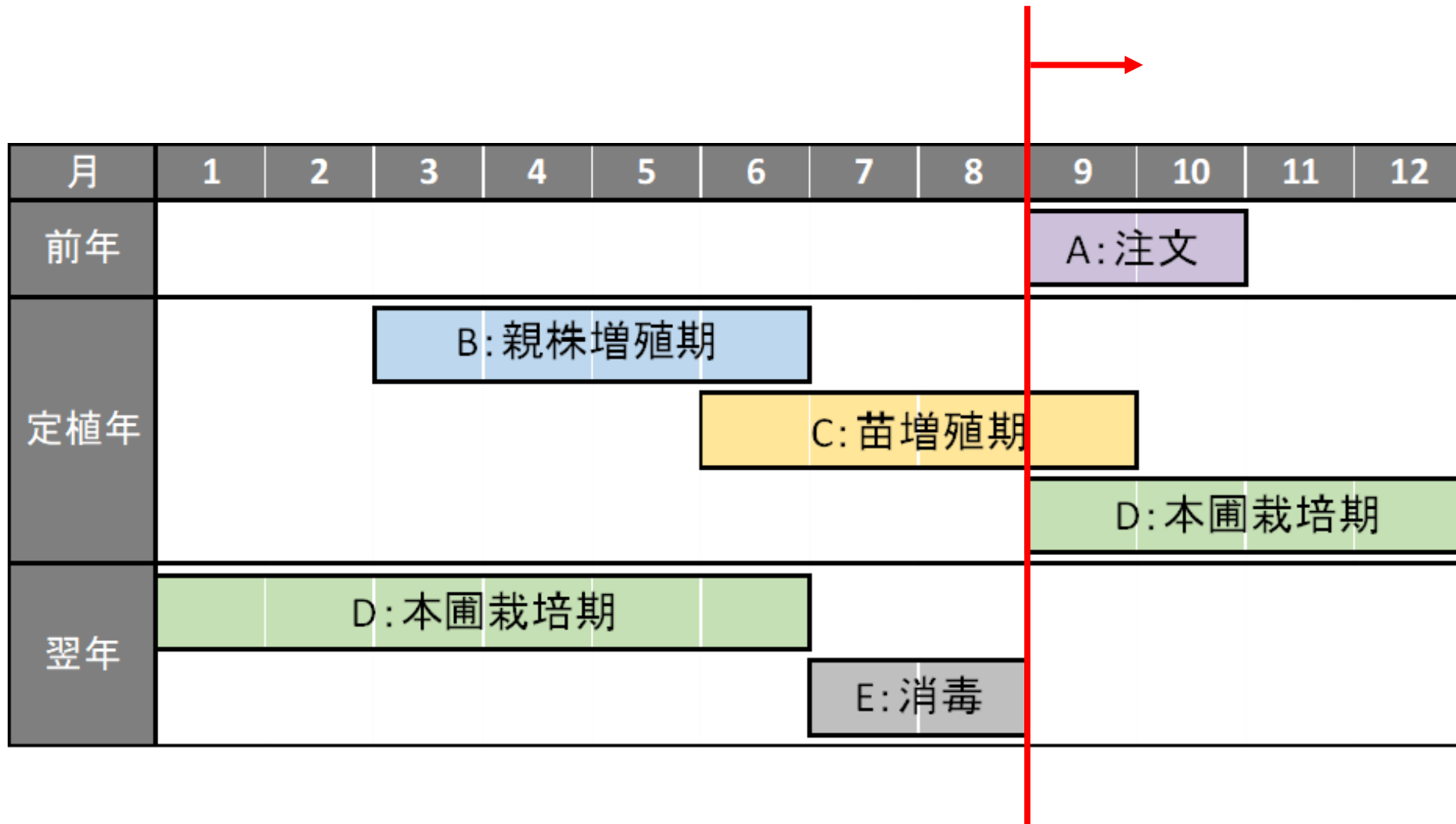
みおしずくの栽培管理について（定植～収穫期）



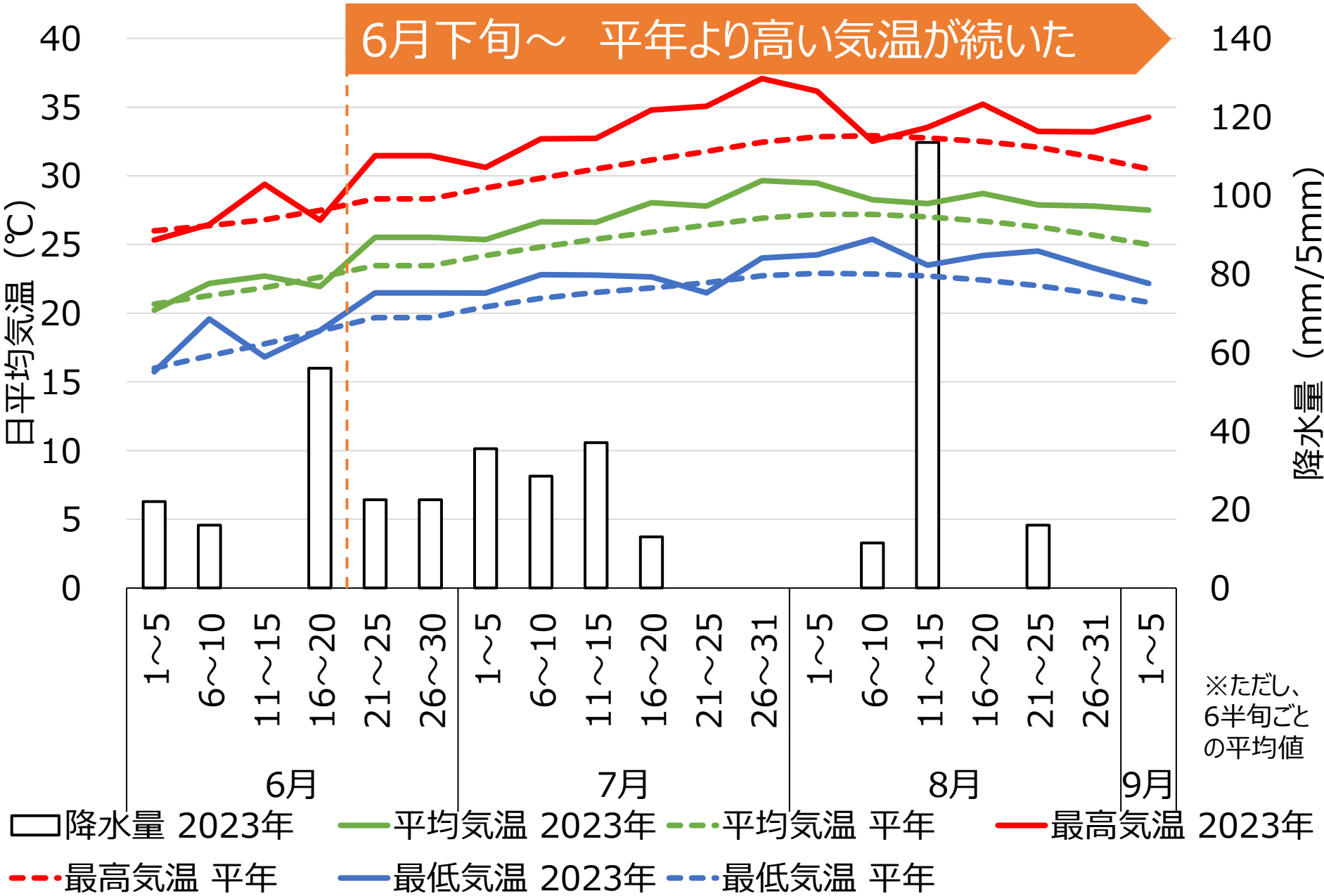
東近江農業農村振興事務所農産普及課

【イチゴ新品種「みおしずく（滋賀SB2号）」栽培管理指針 Ver.2】を基に作成

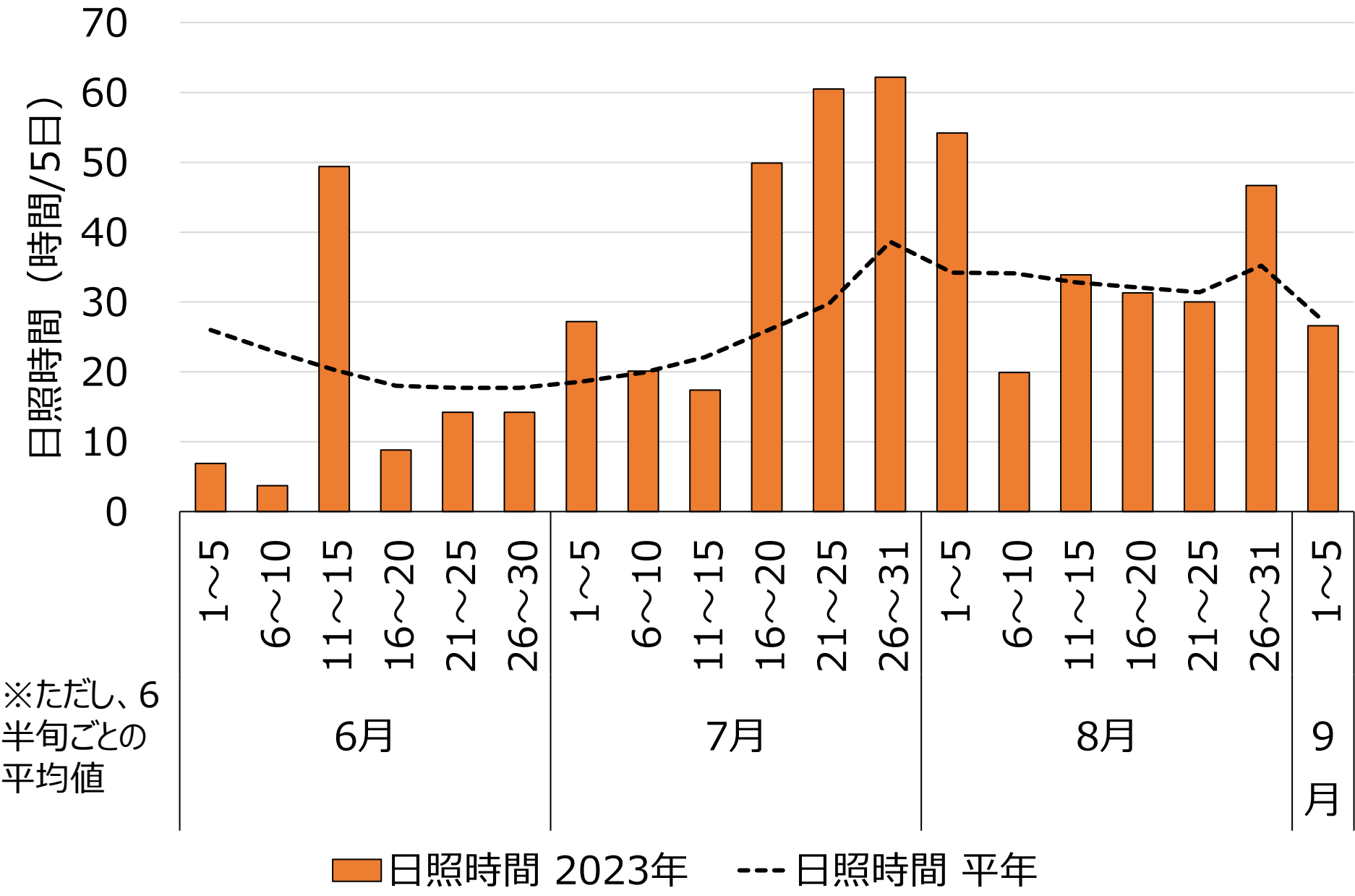
栽培管理方法の概要(P3)



育苗期間中の気温・降水量の推移



育苗期間中の日照時間の推移



育苗状況 (8/23)

みおしずく

章姫



育苗狀況 (8/23)



育苗狀況 (8/23)



「みおしずく」育苗期間中の病害虫発生状況

○害虫

ハダニ、アブラムシ、ヨトウ、コガネムシ、
ホコリダニの発生を確認

○病害

炭疽病、青枯病を確認

※「みおしずく」は「章姫」より炭疽病に強いですが、
全く発生しない（抵抗性）わけではありません。
定期的に炭疽病に効果のある薬剤散布を
実施しましょう。

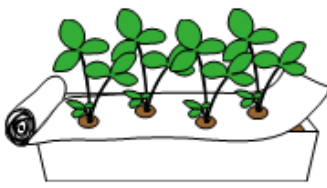



↑ 青枯病

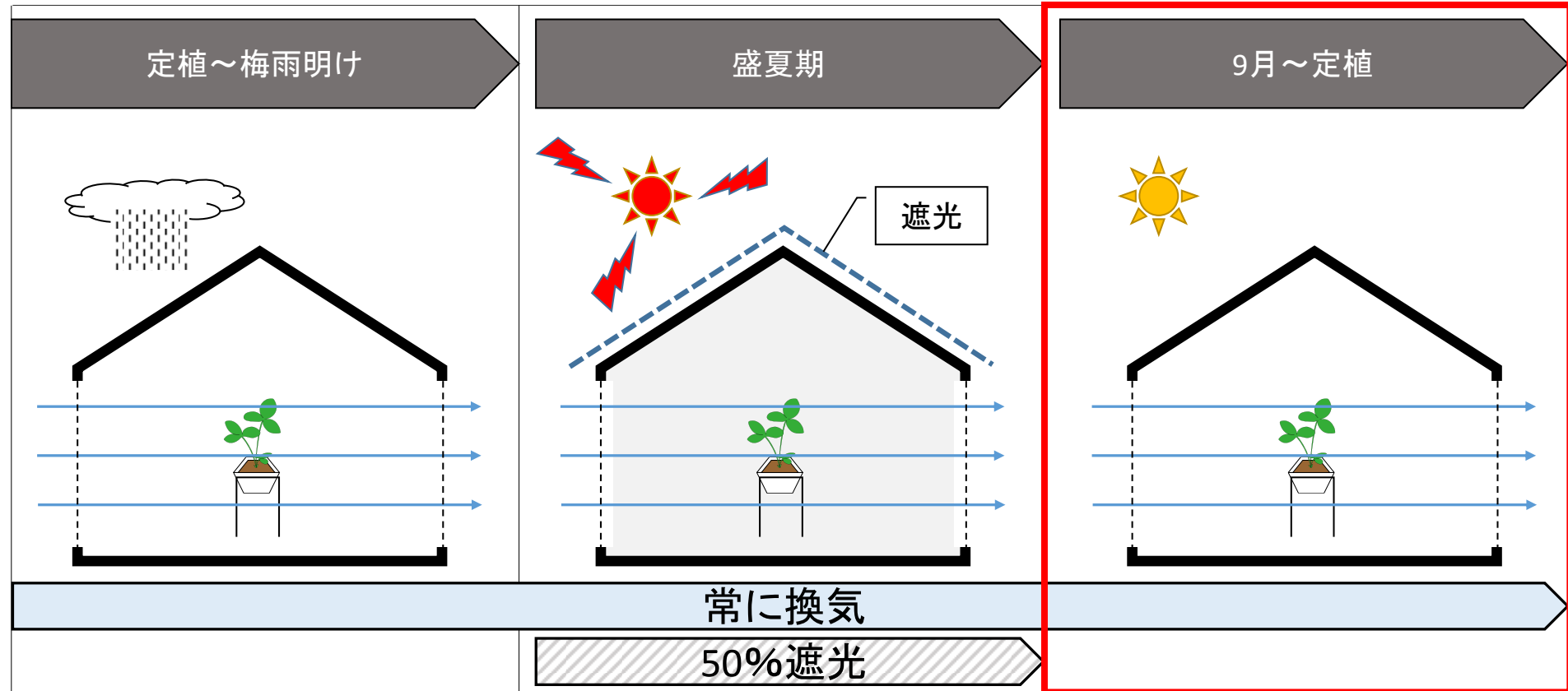


↑ 炭疽病

苗増殖期 (P9~)

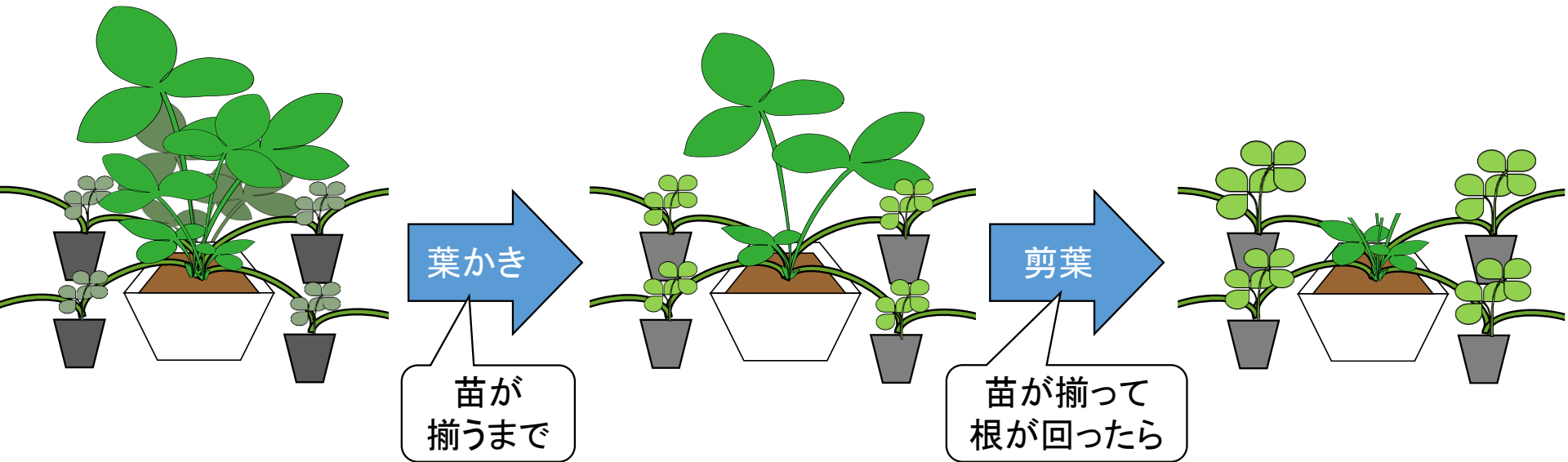
C 苗増殖期		6月			7月			8月			9月		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
ハウス管理		常に換気											
		天候によって開始時期を変える											
		50%遮光											
 <p>親株</p> <p>株間40cm 2条千鳥植 +マルチ</p>	給液	EC: 0.4dS/m 1~4回 × 5~10分/日 給液量は「草姫」の1.5倍が目安！											
	管理	★ 定植 ◆必要苗数が確保できた ⇒余分なランナーを摘除する *子苗をつないでいるランナーは切らない ◆子苗の根鉢ができた ⇒親株を剪定し 採光・通風を良くする 子苗受け 葉かき ◆親株の葉が子苗を隠す ⇒子苗を隠している葉をとるか マイカ線等で起こす											
 <p>子苗 (本圃用苗)</p> <p>7.5cmポリポット</p>	灌水	水のみ 1~2回/日 一度の灌水で根鉢全体がしっかりと湿るよう時間を調節する											
	管理	◆苗が込み合う ⇒大きい苗から葉をとる 葉かき うどんに集中防除 盛夏期にうどんこ病菌は弱るため、この時の防除が特に発病リスクを下げる効果が高い 直前防除 ◆定植の2週間以上前に苗を切り離す場合 ⇒苗にIB化成を1~2個置き肥えし、苗の充実を図る 株切離し ★ 定植											

育苗中のハウス内環境の管理方法 (P12)



育苗の9月以降は遮光なし+常に換気

親株の葉数管理の方法(P13)

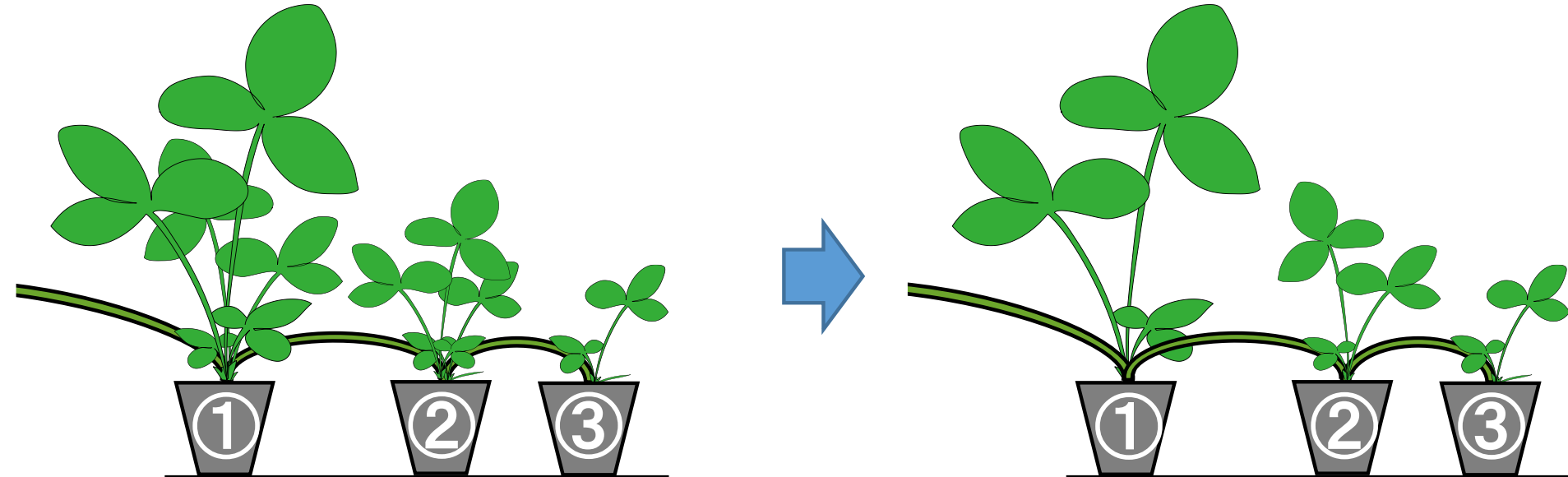


子苗の根鉢ができたなら親株の剪葉を行う
→採光性・通風を良くする

親株の剪葉



子苗の管理方法 (P14)



※①太郎苗 ②次郎苗 ③三郎苗

・苗同士が混みあう場合は、①→②→③の順に葉かきする

・苗への施肥は通常必要ない

※以下の時にはIB化成を1～2個ポットに置く

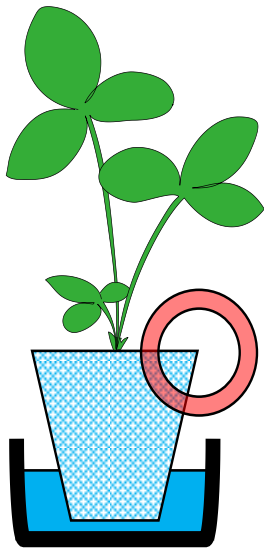
(1) 苗の葉色が薄い場合

(2) 定植の2週間以上前に親株から切り離す場合

子苗のかん水管理 (P14)

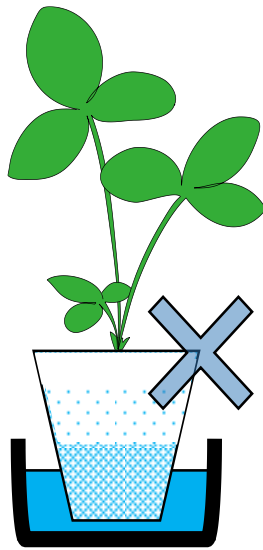
灌水時

A



灌水時間が適切で
培地に水がいきわたる

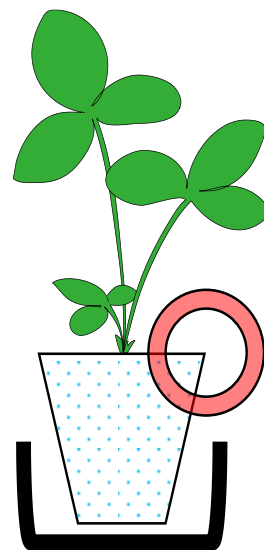
B



灌水時間が短く
吸水ムラが残る

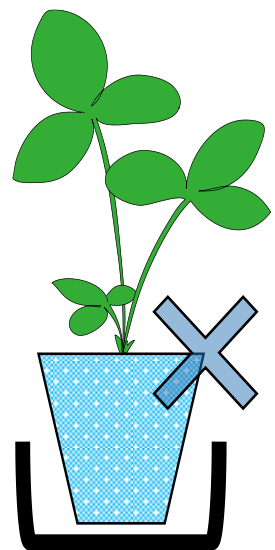
夜間

C



適度な湿り具合を保つ

D



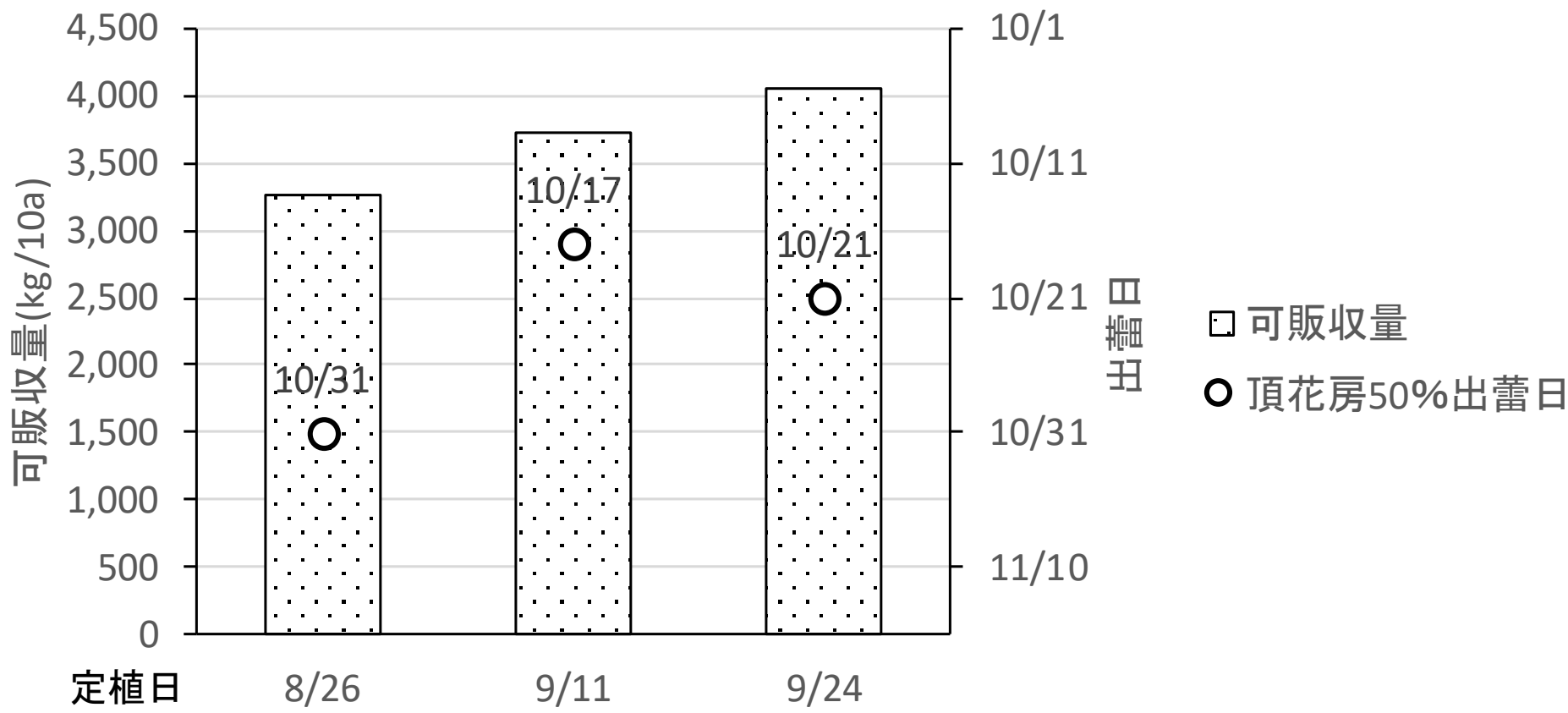
夜間も過湿状態

1回目のかん水：午前8時頃

2回目のかん水：天候や根鉢の乾燥具合によって調整する

※過乾燥でない限り15時以降のかん水は避ける

定植日と出蕾・収量の関係 (P15)



極端な早期定植(花芽分化前定植)は出蕾の遅延、収量低下につながる

9/11定植と9/24定植を比べるとあまり変わらない
 ⇒ 確実に花芽分化してからの方が、分化前定植による出蕾遅延や収量低下の心配が少なく安全！

定植時期が「みおしずく」の出蕾および収量に及ぼす影響 (P15)

定植日	頂花房	一次腋花房	二次腋花房	収穫開始日	可販収量 (g/株)
8/26(花芽分化前) ¹⁾	10/31	12/10	2/6	11/5	466
9/11(花芽分化後) ²⁾	10/17	12/10	1/21	11/5	532
9/24(花芽分化後) ²⁾	10/21	12/10	1/24	11/8	579

1) 花芽分化までは水のみを灌水し、花芽分化後から培養液の給液を開始した

2) 定植直後から培養液の給液を開始した

※東近江地域では適期定植に向けて花芽分化調査を実施します (後述)

定植前準備（P16）

①定植 5～7 日前

- ・薬剤防除（本圃への病害虫持ち込み防止）
- ・本ぽハウスへの遮光ネット展張

②定植 3 日前～前日

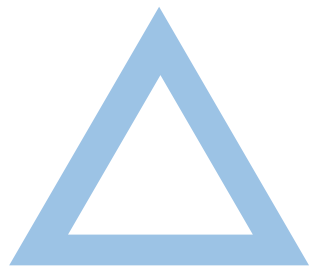
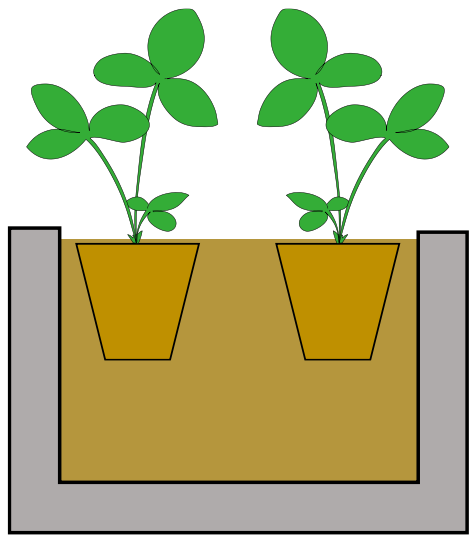
- ・ベッドへのかん水

※定植当日はベッドへのかん水はしない

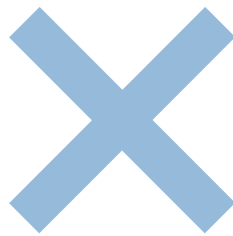
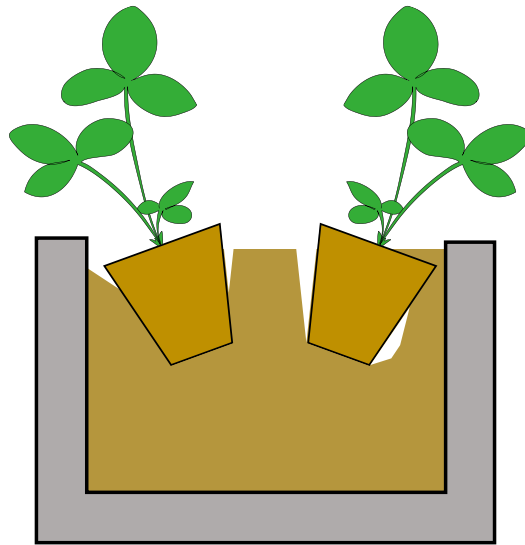
③定植前日 夕方

- ・苗へのかん水

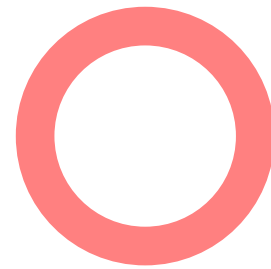
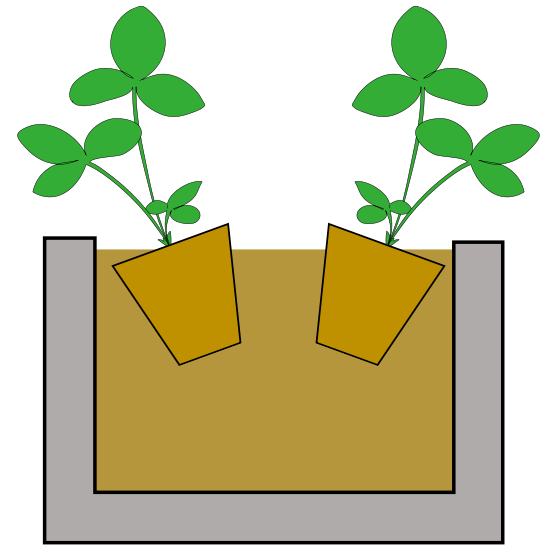
定植方法 (P17)



垂直に植える



隙間がある

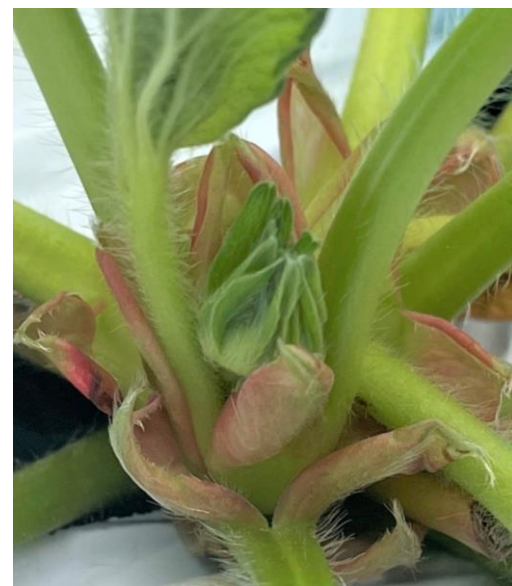


傾けて隙間なく植える

- 株間23cm、2条千鳥植え
- 果房の向きを揃えるため通路側へ少し傾けて定植
- 苗の根鉢とベッドの培地に隙間がないようなじませる

定植後の培養液管理（P17～18）

- ・以下を基準として培養液管理を行う
- ※養液濃度を変更するタイミングがずれると、出蕾の遅れや収量の低下を招く



時期	養液濃度 (dS/m)	かん水回数 (回/日)	備考
定植～頂花房出蕾	0.4	1～2	必ず花芽分化した株を定植する
頂花房出蕾 ～3月中旬	0.8	1	頂花房出蕾がハウスの50%程度
3月中旬～	0.5	3～5	

葉数および芽立て管理 (P18)

- 定植後は新葉が数枚展開するまでは葉かきを行わない
- 葉数が増加したら、展開葉 6 ~ 7 枚を目安に古葉をかく
- 基本は 1 芽仕立て
- 花房直下から同程度の強さの 2 芽が発生したら、無理に芽かきせず 2 芽仕立てする



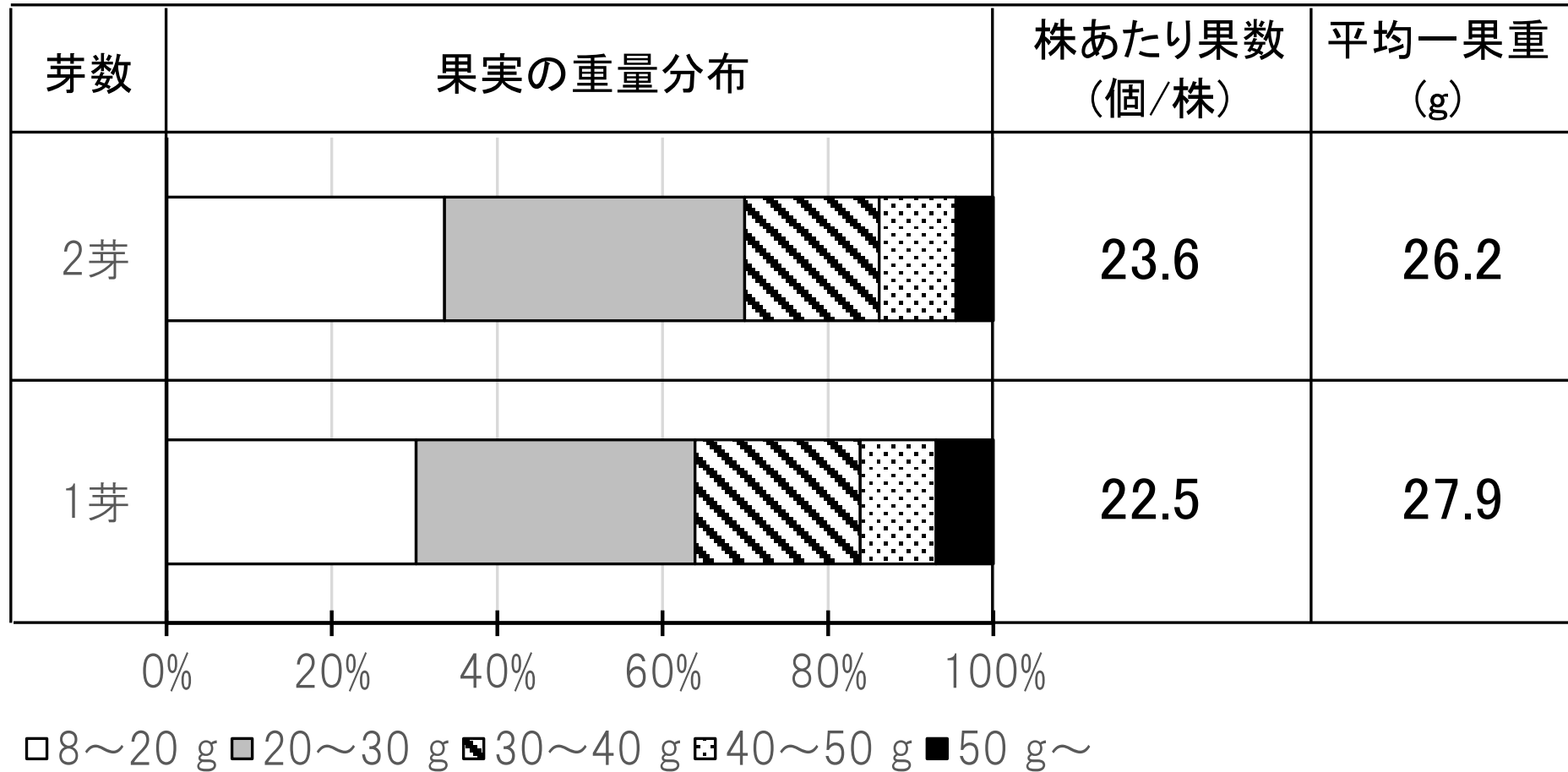
1 芽仕立て



2 芽仕立て

仕立て芽数別の果実重量分布と株あたり果数

果数 (P18~19)



マルチング、ミツバチ導入、摘花（P19~20）

- ・10月中旬ごろ、出蕾を確認し始めたら黒マルチを張る
 - ・出蕾から約2週間後、開花初めごろにミツバチを導入する
 - ・花数は「章姫」より少ないため、1芽で管理する場合は基本的に摘花する必要はない。
- ※ 2芽で管理する場合は、草勢や着果負担を考慮して摘花により果数を制限する

栽培期間中の温度管理（P20～）

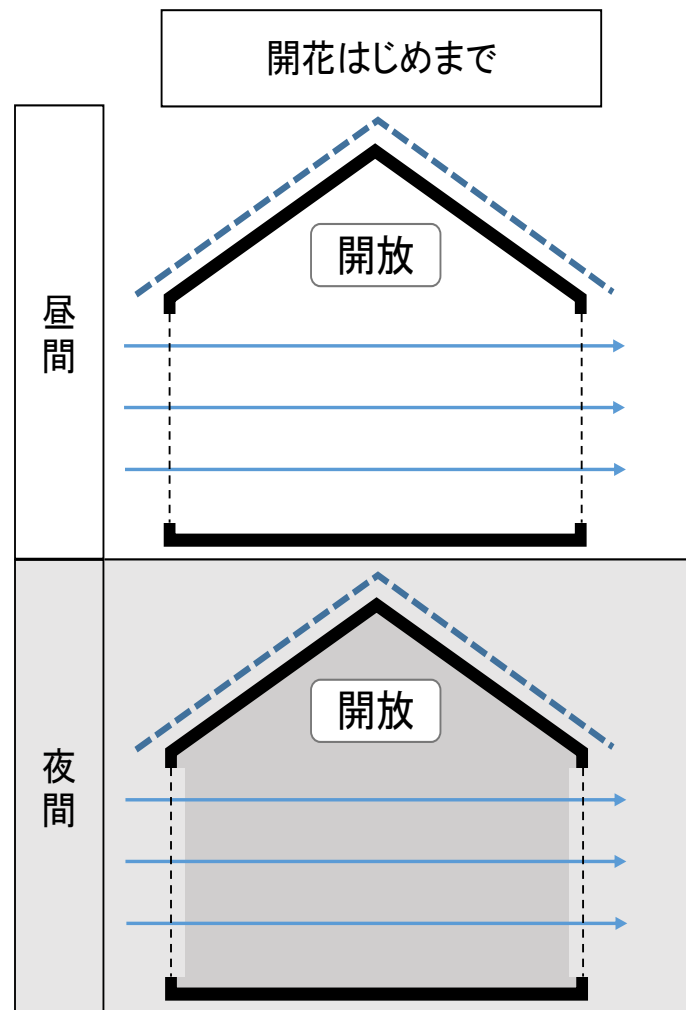
表6 時期別温度管理の目安

時期		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
項目番号		①		②	③			④	⑤		
管理 (換気設定目安)		換気 (25℃)		保温 (28℃)	保温 (28℃)			換気 (22℃)	換気 (20℃)		
目標 温度	昼温	30℃以下		25℃	25～28℃			25℃以下	30℃以下		
	夜温	20℃以下		5℃以上	5℃以上			5～10℃	10℃以下		

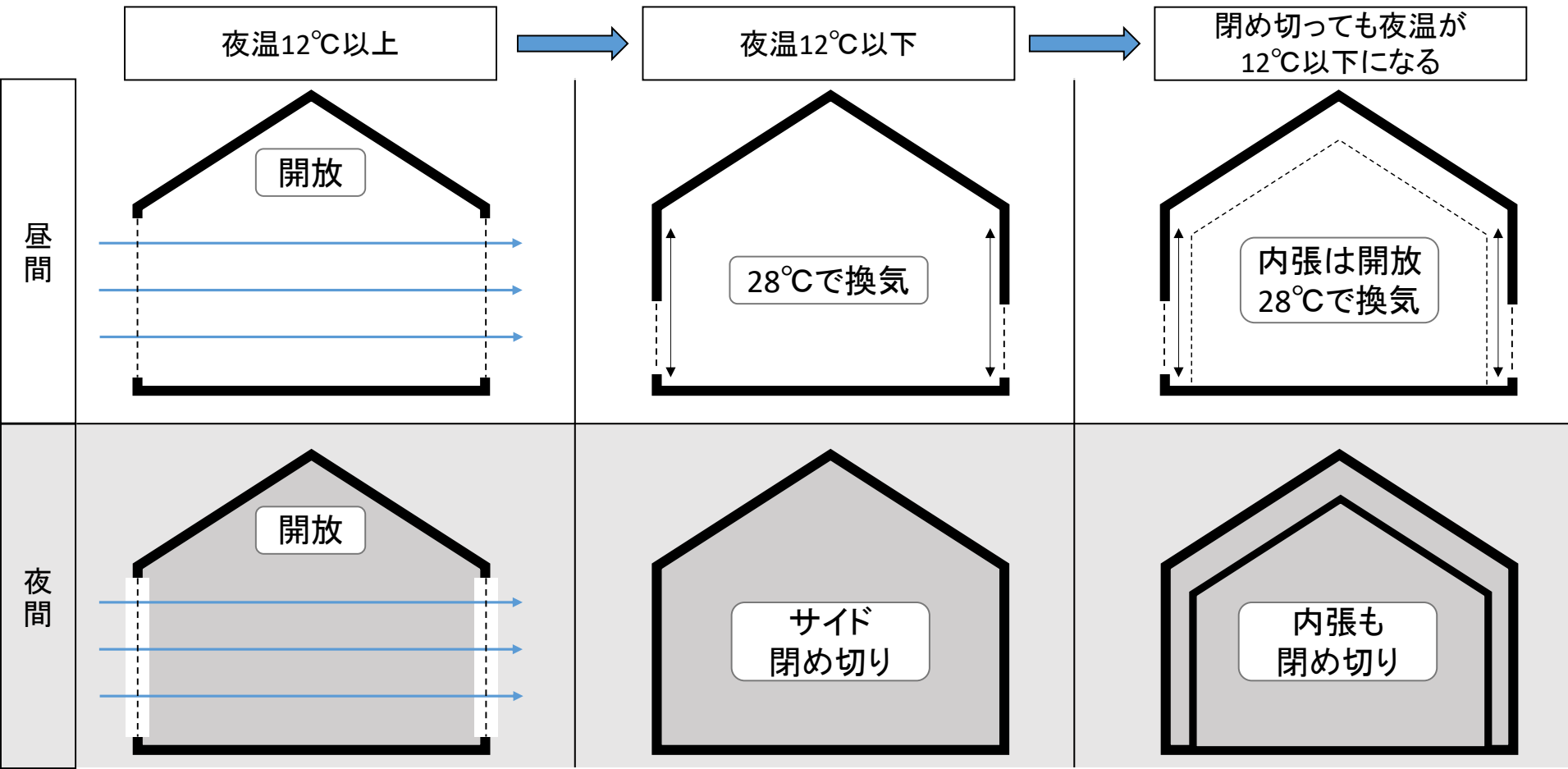
① 定植～開花のハウス管理 (P21)

可能な限り気温を低く保つための換気に努める

- ・活着までにハウス内が35℃以上になる場合は、遮光などにより高温対策を行う
- ・活着後も終日ハウスを全開にする



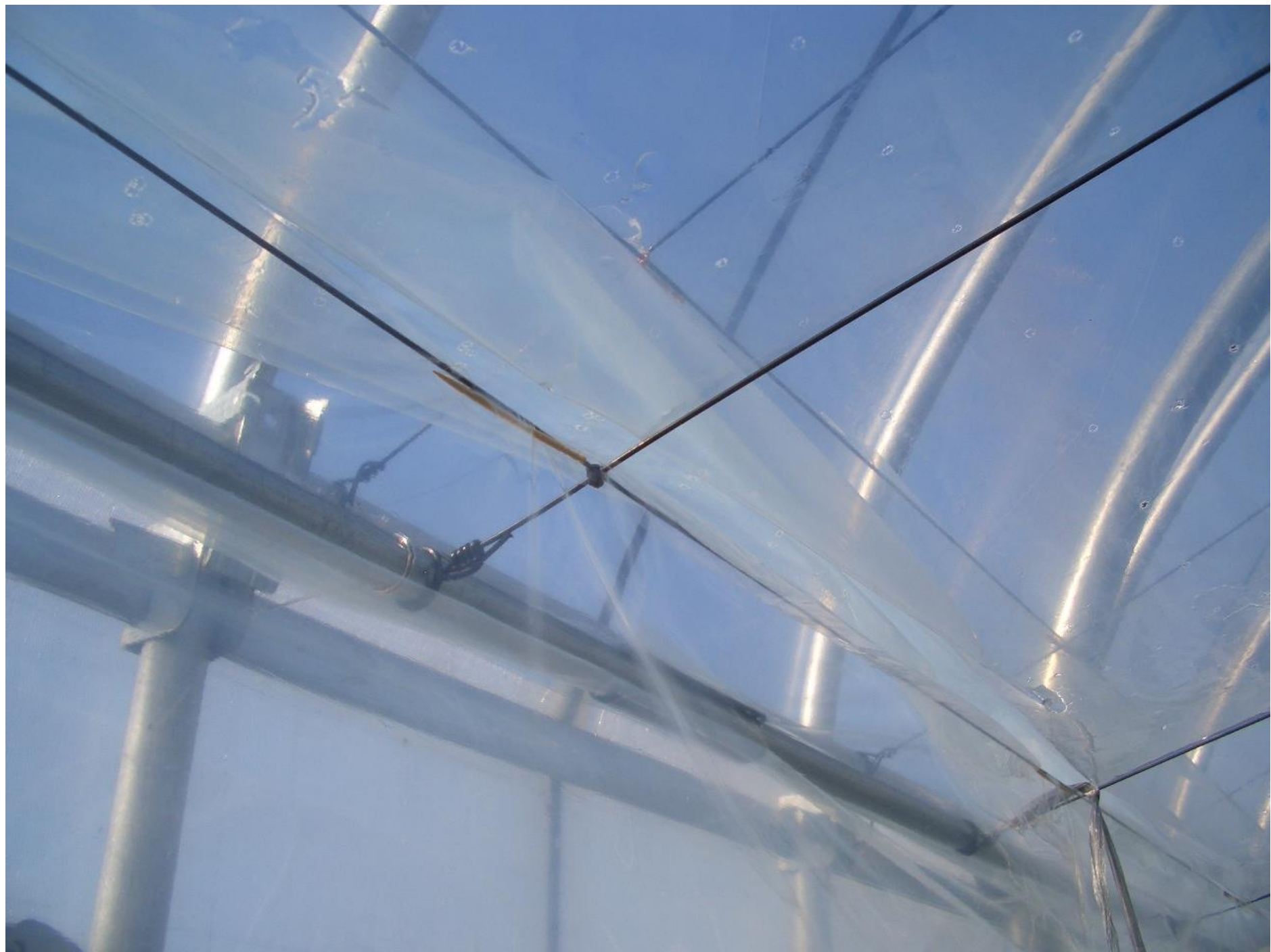
② 開花から頂果房収穫までの管理 (P21~22)

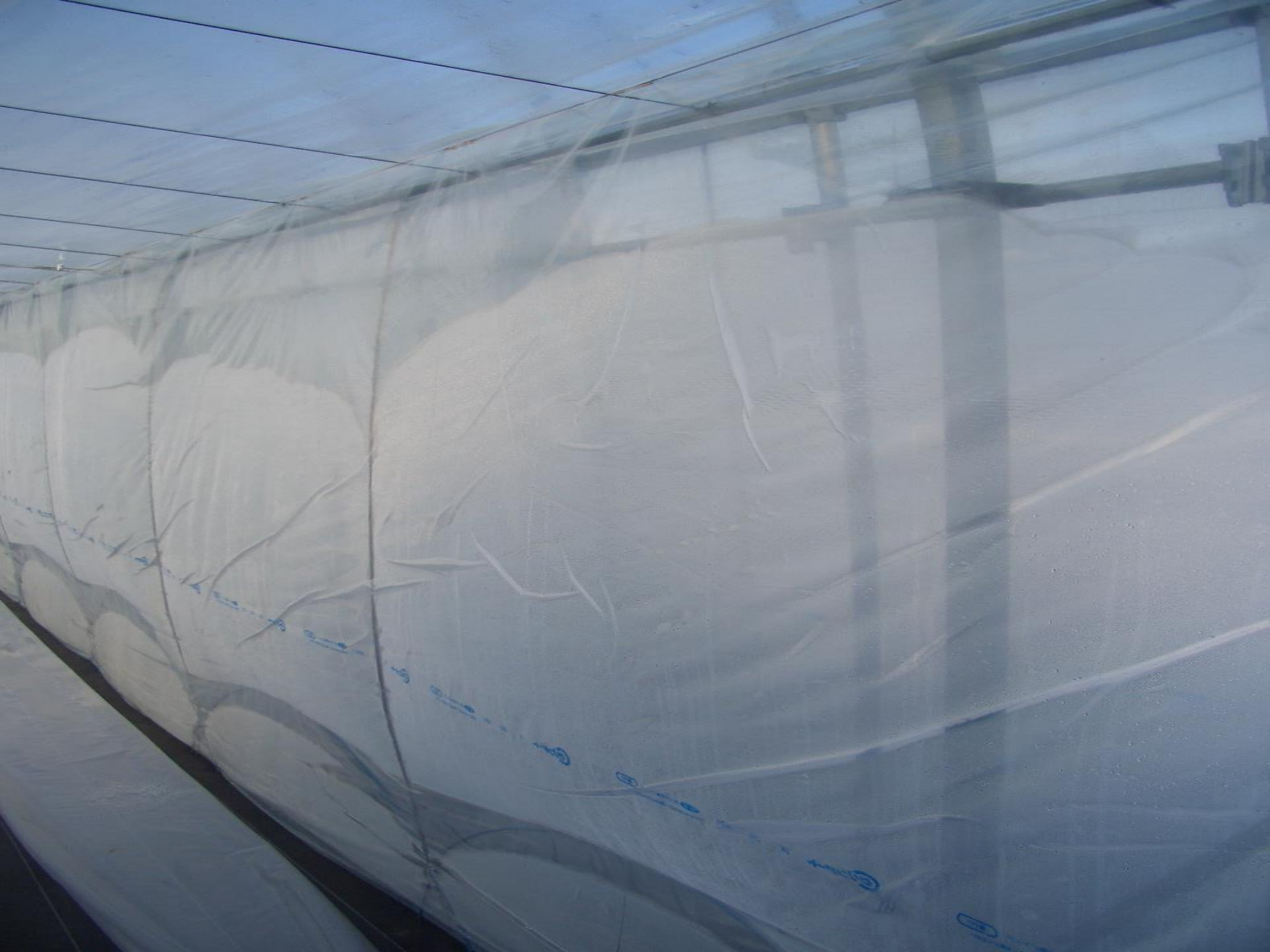


保温前に被覆資材・内張りカーテンの 点検









花芽分化調査について

「みおしずく」の適期定植に向けて花芽分化の調査を実施
【調査予定日：9/15、9/20、9/25】

→調査結果はFacebook「ふきゅーとる東近江」に掲載



👉 Facebook
「ふきゅーとる東近江」
QRコード

ふきゅーとる東近江
2022/09/21 · 🌐

当課では、イチゴの花芽分化後定植が実施できるよう、生産者に御協力いただき、花芽分化調査をしています。

9月16日に調査したところ、一部の生産者で「かおり野」の分化を確認し、「かおり野」が花芽形成に向けて動き出していることがわかりました。...もっと見る



ふきゅーとる東近江
2022/09/21 · 🌐

【イチゴ情報：花芽分化（章姫）】
当課では、イチゴの花芽分化後定植が実施できるよう、生産者に御協力いただき、花芽分化調査をしています。

9月20日に調査したところ、一部の生産者で「章姫」の分化を確認し、「章姫」が花芽形成に向けて動き出していることがわかりました。...もっと見る



「みおしずく」の誓約事項

**「みおしずく」は品種名『滋賀S B 2号』により品種登録出願中です
品種登録出願番号：第35750号 出願年月日：令和3年10月1日**

＜みおしずくの苗購入にあたっての遵守事項＞

- ◎ 購入種苗は、自己の経営における果実生産またはこれを目的にした増殖のみに使用すること。
- ◎ 購入種苗およびそれに由来する増殖株は、有償・無償を問わず、第三者に譲渡しないこと。
- ◎ 自己の農業経営において種苗として用いなかった本品種の種苗は、遅滞なく廃棄すること。
- ◎ 第三者から本品種の種苗を譲り受けたいまたは譲渡したい旨の申し出があった場合は、遅滞なくその旨を滋賀県に報告すること。
- ◎ 本品種の種苗を海外に持ち出さないこと。
- ◎ 本品種の種苗を用いた果実生産（収穫物を生産する行為）を滋賀県内において行うこと。
- ◎ 年1回以上は種苗の更新を行うこと。
- ◎ 滋賀県内の市場を通じた販売の取組にできる限り協力すること。
- ◎ 滋賀県が作成する栽培管理指針を参考に、品種に適した栽培管理を行うこと。
- ◎ 良品生産に努めること。

（注）遵守事項について違反があった場合、本品種の利用にかかる許諾を解除することがあります。